

腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう！

◆どんな病気？

毒素を産生する腸管出血性大腸菌（O157など）によって引き起こされる感染症です。
 少ない菌量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがあります。

- ・感染経路：経口感染（汚染された飲食物を口にしたり、患者の便を介することで感染します）
- ・潜伏期間：多くは3～5日
- ・症状：下痢、腹痛、血便、発熱（無症状の場合もあります）



◆予防対策

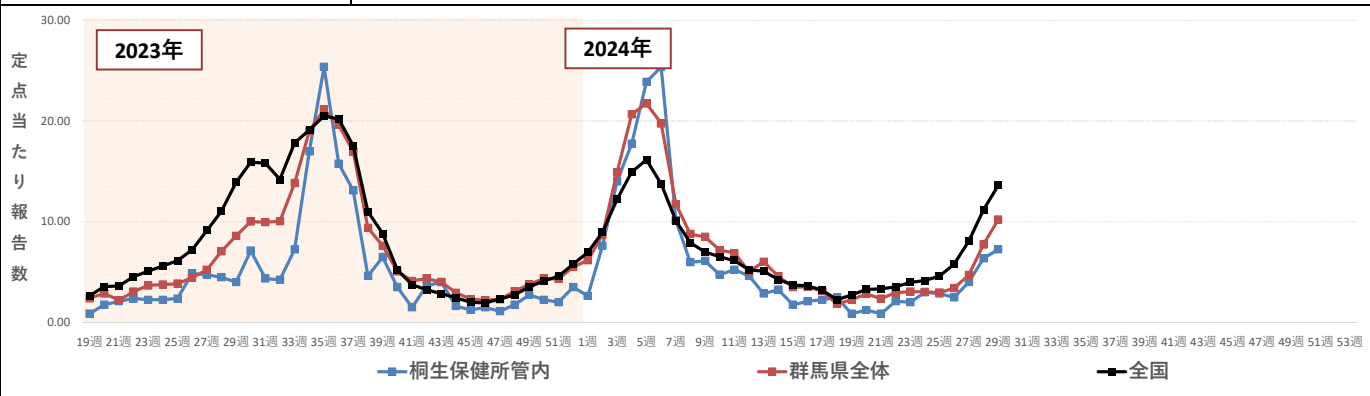
手指は石けんと流水でよく洗い、生野菜や果物はよく洗ってから食べましょう。
 肉の生食は避け、中心が白くなるまで十分に加熱調理（75度で1分以上）してから食べましょう。



【注目疾患】

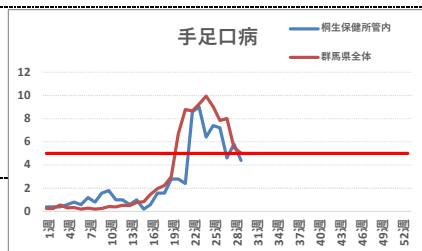
◎新型コロナウイルス感染症

定点当たりの報告数は、28週「6,375」、29週「7,25」と増加しています。高齢者施設等での集団感染も報告が増えており注意が必要です。咳やくしゃみが出るときはマスクを着用するなど、咳エチケットが効果的です。



◎その他感染症：

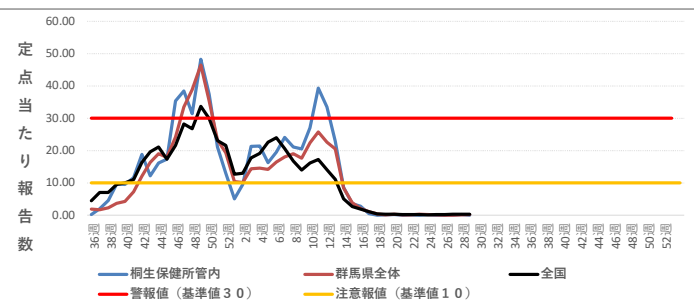
「手足口病」の警報発令中です！ →
 原因となるウイルスは**アルコールが効きにくい**ので、
 手指は石けんと流水でよく洗うようにしましょう！



【管内の主な感染症発生動向】

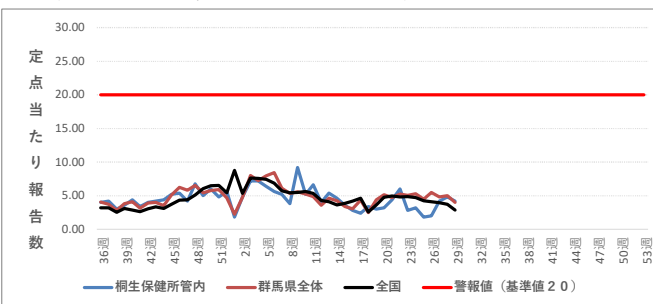
◎インフルエンザ：

報告は減少していますが、一部の地域で報告が続いています。
 引き続き咳エチケット、手指衛生をこころがけましょう。



◎感染性胃腸炎：

報告が続いています。汚染された手・食品・水などを通して口から感染するので、ふん便やおう吐物を処理する際は使い捨て手袋を着用し、慎重に行いましょう。



※ 感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しています

★より詳しい情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>



（問い合わせ先）
 桐生保健福祉事務所 保健係
 電話：0277-53-4131